平成21年度自衛隊統合防災演習(実動演習)について

自衛隊は、下記のとおり平成21年度自衛隊統合防災演習(実動演習)を実施いたします。

記

1 目 的

首都直下地震発生時等における自衛隊の統合運用による対処要領を関係機関等と共同して実践的に演練し、統合防災対処能力の維持・向上を図るとともに、自衛隊首都直下地震対処計画の検証に資する。

2 主要演練事項

- (1) 初動対処要領及び部隊集中要領
- (2) 部隊等からの迅速な状況報告及び統合幕僚監部の状況把握

3 演習概要

- (1) フェーズ I (機能別訓練) とフェーズ II (総合訓練) に区分して実施する。
- (2) 訓練の特徴は、次のとおり。

ア フェーズ I (機能別訓練)

自衛隊独自の訓練として、自衛隊首都直下地震対処計画における各種機能の検証及び自衛隊の統合防災対処能力の維持・向上を図る。主な訓練項目は次のとおり。

- (7) 部隊集中訓練
- (1) 情報収集訓練
- (ウ) 政府災害対策本部要員等の空輸支援訓練
- (工) 統合通信訓練
- (オ) 統合後方補給訓練
- (力) 患者後送訓練

イ フェーズ**II** (総合訓練)

八都県市合同防災訓練と連携し、関係機関等との共同要領を演練する。主な訓練項目は次のとおり。

- (7) 政府調査団派遣訓練
- (イ) 広域医療搬送訓練
- (ウ) 八都県市合同防災訓練

4 時期

- (1) フェーズ I:平成21年8月29日(土)~8月31日(月)
- (2) フェーズⅡ:平成21年9月1日(火)

5 実施場所

- (1) 演習参加部隊等が所在する駐屯地、基地等
- (2) 広域医療搬送訓練及び八都県市合同防災訓練の各訓練会場
- (3) 機能別訓練及び総合訓練のために使用する陸路、海域、空域、場外離着陸場等
- 6 統裁官

統合幕僚長

7 参加部隊等

(1) 幕僚監部等 : 統合幕僚監部、情報本部及び自衛隊指揮通信システム隊

人員約 100 名

(2) 陸上自衛隊 : 各方面隊、中央即応集団、通信団、警務隊、陸上自衛隊中央業務支援

隊、陸上自衛隊中央輸送業務隊、陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊通

信学校及び陸上自衛隊研究本部

人員約 5,600 名、車両約 530 両、航空機約 30 機

(3) 海上自衛隊 : 自衛艦隊、横須賀地方隊及びシステム通信隊群

人員約200名、車両3両、艦船2隻、航空機1機

(4) 航空自衛隊 : 航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空開発実験集団、航空シ

ステム通信隊及び航空機動衛生隊

人員約 400 名、車両約 20 両、航空機約 20 機

(5) 病 院 等 : 自衛隊中央病院、自衛隊横須賀病院及び自衛隊岐阜病院

(6) 合計: . 人員約6,300名、車両約560両、艦船2隻、航空機約50機

8 関係機関等

内閣府、消防庁、警察庁、海上保安庁、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、 川崎市、千葉市、さいたま市等